

さわべス2016

書籍編

SAWAYA BEST

(15年11月23日 さわや書店スタッフ選考)

順位	書名・著者・出版社	コメント
1位	終わった人 内館牧子/講談社	こんなにも壮年男性の心に刺さる小説があっただろうか。野心・虚栄心・下心、すべてを裸にして見通す洞察力に完敗。主人公は盛岡出身。(本店 竹内)
2位	タスキメシ 額賀濤/小学館	「走る」こと「食べる」ことを通じて繋がれた4人の中継地。諦めと痛みと苦しみ、その先にあった笑顔に涙が止まりません。(上盛岡店 佐々木)
3位	SOY! 大いなる豆の物語 瀬川深/筑摩書房	岩手出身の著者が織りなす物語。味噌や豆腐の原料である小さな大豆が、壮大なスケールに膨らんで行く姿は圧巻の一言!(外商部 栗澤)
4位	ヨイ豊 梶よう子/講談社	田口が今年最もおすすめする一冊、タゲベス2015第一位! 次期直木賞は「ヨイ豊」が受賞してほしい! よろしくお願ひします。(フェザン店 田口)
5位	友川カズキ独白録 友川かずき/白水社	昔11PMというテレビ番組で友川さんの歌を初めて聴いたが、その声に驚き惚れてしまった。今度はこの独白録に惚れてしまった。(上盛岡 大池)
6位	生還者 下村敦史/講談社	登山は壮大な自己満足であり、自己実現だと思ひます。何を思いどう感じるかは登る人次第、読む人次第。一級品の山岳ミステリー。(総務部 赤澤)
7位	羊と鋼の森 宮下奈都/文藝春秋	限界を決めるのは他人じゃない。自分だ。“正しく諦める”ために、たどり着けるかわからない高みを目指してもがく。(フェザン店 長江)
8位	あなたの明かりが消えること 柴崎竜人/小学館	人の生は有限だが、その生のなかに無限を忍ばせることはできる。限り無くやさしい物語。(フェザン店 松本)
9位	安倍政権を笑い倒す 佐高信 松元ヒロ/KADOKAWA	元「ザ・ニューズペーパー」の松元ヒロさん。佐高信さんと安倍政権の矛盾に笑いながら迫る。他に立川談志さんの思い出話に泣かされた。(上盛岡店 大池)
10位	MとΣ 内村薫風/新潮社	1990年2月11日。ネルソン・マンデラの解放、マイク・タイソンの敗北、ドラクエIVの発売が重なった奇跡の一日。(フェザン店 松本)
【郷土賞】	綺良のさくら 今井絵美子/角川春樹事務所	主人公・綺良の人生を盛岡南部藩の創成期に重ねて描いた名手・今井絵美子渾身の一作!(フェザン店 田口)
【新書賞】	下流老人 藤田孝典/朝日新聞出版	高齢者の貧困問題は、日本の大きな課題。無関心が一番の敵です。まずは本書で勉強してみませんか。(外商部 栗澤)
【自画自賞】	まちの本屋 知を編み 血を継ぎ 地を耕す 田口幹人/ポプラ社	地元の食堂、地元の蕎麦屋、地元の居酒屋、地元の魚屋、地元の八百屋、地元の本屋! 地元での商売が一番と考える。書店員入魂の一冊。(上盛岡店 大池)